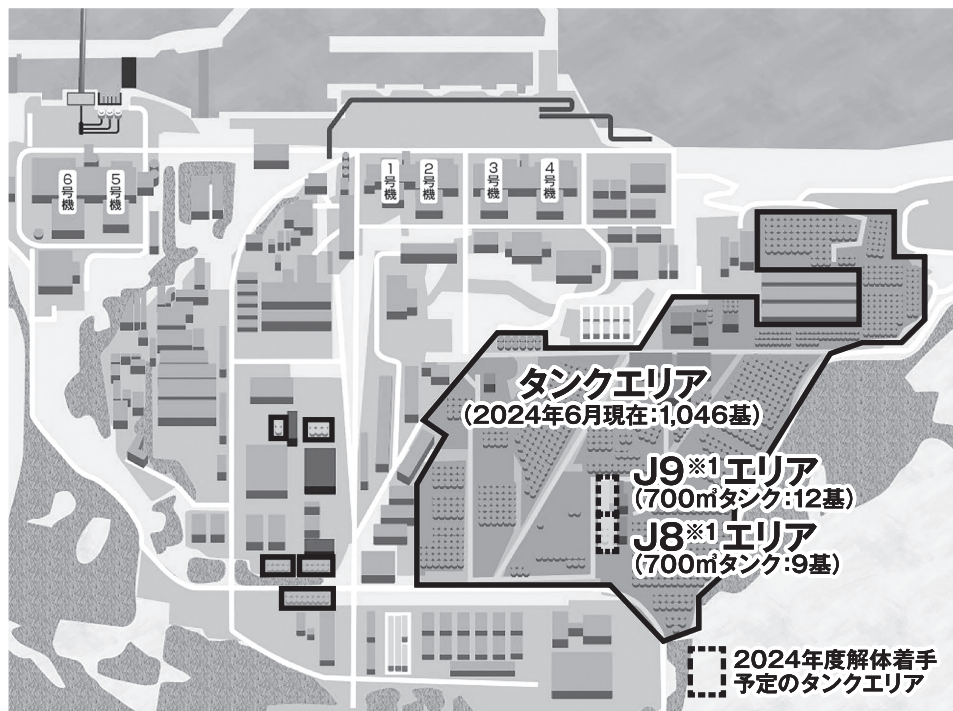
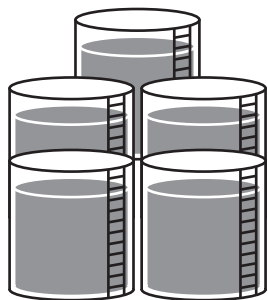


ALPS処理水の海洋放出後、空いた敷地は廃炉のために計画的に利用していきます。

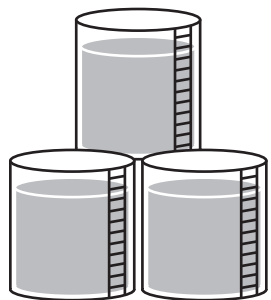


ALPS処理水
放出水量(計画)※2



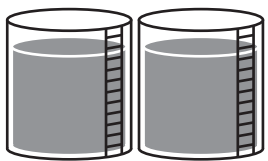
約54,600m³

新規に発生する
水の量(想定)※2・3



約32,850m³

タンク貯蔵量の
減少量(想定)※2



1,000m³タンク
21基分の見込み

※1: J8エリア/環境へ放出する場合の基準を満たしていない水(「処理途上水」)を現在貯留しており、空となった他のタンク群へ移送します
J9エリア/ALPS処理水を貯蔵しているタンク群です

※2: 2024年度の計画や想定です

※3: 1日あたりの発生量を90m³に設定し、算定しています

Q.ALPS処理水の海洋放出で、タンクは
どうなるの？

▶ 2024年度は、J8・J9エリアのタンク(左図参照)を空にして解体に着手する計画です。

Q.タンクを解体した後、空いた敷地は？

▶ 廃炉作業に必要な施設・設備を計画的に建設することを検討しています。
J8・J9エリアでは、燃料デブリ※4取り出し関連施設の建設を想定しています。

※4: 事故の際、原子炉内の燃料が溶け、周囲の構造物と混ざりながら、冷えて固まったもの



ALPS処理水に関する情報はこちらをご覧ください
▶[処理水ポータルサイト]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/>



敷地利用に関する公表資料はこちらをご覧ください
▶[ALPS処理水海洋放出の状況について(P.80~81)]
https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/images/240328_01.pdf



福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・処理水対策
▶[皆さまのご意見をお聞かせください]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html>

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22